



2024年1月「うつくしま地球温暖化防止活動推進員の会」(県北地区)活動報告

2024年1月19日今年最初の県北の会の会合を開催しました。

1)田崎由子代表からの挨拶

「福島県地球温暖化防止活動推進員の会(県北の会)」が始まってからまもなく3年になります。今後は、学んだことを地域で実践することです。昨年、「地球温暖化防止かるた」を作成したので、このかるたの活用をメインに、活動をしていきたいと思えます。



写真 2024年最初の会合の様子

2)「地球温暖化防止かるた」の報告

小学校で活用して欲しいとの願いから福島市教育委員会と伊達市教育委員会を通して各市内の小学校に「かるた」を贈呈しました。

3)2023年12月に開催した「地球温暖化防止かるた」の体験会のまとめ

改善点や良かった点を話し合いました。当面、「かるた」を活用して地球温暖化防止活動を実践することとし、「かるた」を配布

した学校での利用状況も含めて、内容や活用方法などを調査・検討するとともに、本会の目的である地球温暖化防止活動を推進することが重要であることを確認しました。

4)「ら.ら.カフェ」の紹介

県北の会のことが掲載された「ら.ら.カフェ」65号が紹介され、希望者に配布しました。

5)次年度の希望講座の話し合い

次年度の希望講座のテーマ等についての話し合いを行いました。その中で、先ず、温暖化防止活動推進員の活動について、福島県地球温暖化防止活動推進センターの関わり方や福島県全体の推進員の活動実態、支援体制などについて理解したいとの要望がありました。

6)今後の活動予定

・2月20日13時から16時 ・3月2日9時から12時 ・4月13日9時から12時
・5月24日13時から16時 大活動室3(研修会) いずれもアオウゼで開催します。

国連気候変動枠組条約 (UNFCCC) 第28回締約国会議 (COP28) ドバイ会議の成果

グテーレス国連事務総長が「地球沸騰化の時代が到来した」と警鐘を鳴らして、地球温暖化防止対策の強化を求めたCOP28は、2023年11月30日から12月13日までアラブ首長国連邦ドバイで開催されました。ここではパリ協定の下での第1回グローバルストックテイク(GST)、適応に関する世界目標(GGA)実施枠組、緩和作業計画、公正な移行経路に関する作業計画、パリ協定第2条1項(世界全体の平均気温の上昇を工業化以

前と比べて2℃より十分低く保つとともに、世界全体の平均気温の上昇を工業化以前よりも1.5℃高い水準に抑える)の実現に関する問題、資金フローと低温室効果ガス(GHG)の気候変動に強靱な開発と整合する事項の検討が中心となりました。

こうした中、1月10日に速報として欧州連合の気象情報機関コペルニクス気候変動サービスが、2023年の世界の平均気温が産業革命前に比べて1.48℃上昇し、観測史上最高を記録したことを公表(図1)し、パリ協定の目標限界が目前に迫っていることを示しました。2023年の気温上昇は1991年か

2023 was the world's hottest year on record

Global surface temperature increase versus the average during the 1850-1900 pre-industrial period (°C)

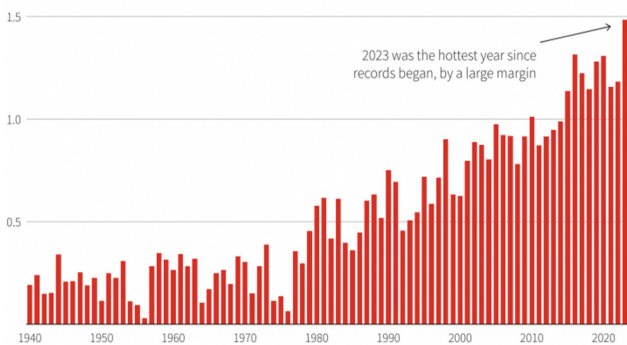


図1 1850年から1900年の産業革命前の期間の平均と比較した地上気温の上昇量(1940年~2023年) コペルニクス気候変動サービス提供

ら2020年までの30年に比べて0.6℃も上回っており、異常な高温年であることは確かですが、海面温度も同期間で0.44℃上昇しており、観測史上最高の上昇であることが示されています。海洋での貯熱は簡単に元に戻らず、メタンなど短寿命の温室効果ガスの削減により、温度上昇を何とか早期に食い止めるため、多くの提案がされてきましたが、予想以上に早期に目標を超える気温上昇となる事が予測されます。

① 化石燃料からの脱却

気温上昇を1.5℃に抑えるためには温室効果ガスを2020年代に減少傾向に転換させ、2030年までに2019年比で-43%、2035年までに-60%、2050年に吸収源や技術的回収量を差し引いて、実質排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」にしなければなりません。しかし、当初案にあった「段階的廃止」の表現に対してサウジアラビアなど産

油国が激しく反発する一方、一時「廃止」を強く求めた島しょ国や欧州諸国なども反発し、結局「脱却」という表現で合意に至りました。具体的には「2050年までに、ネットゼロを達成するために、公正で秩序だった衡平な方法で、エネルギー・システムにおいて化石燃料からの脱却を図り、この重要な10年にその行動を加速させる」と書かれています。この合意を、2023年12月13日の国連気候変動ニュースでは、国連気候変動会議(COP28)は、本日、迅速かつ公正かつ公平な移行の基礎を築くことにより化石燃料時代の「終わりの始まり」を示す合意で閉幕したとまとめていますが、言葉では無く、実質的に削減しなければ、目標を達成することはできません。

図2はこの会議の資料で、二酸化炭素に換算した温室効果ガスの排出量を示したものです。2022年57.4Gtと依然増加傾向が続いています。この現実を本当に食い止めら

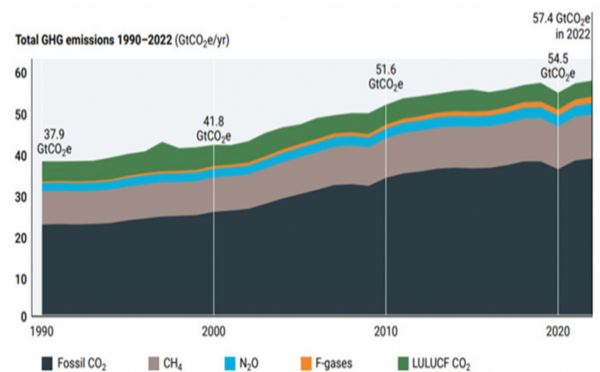


図2 1990年から2022年までの二酸化炭素に換算した温室効果ガスの排出量の推移

れるか疑問が残る結果になっています。

② グローバルストックテイク

温室効果ガス削減の対策強化のためには、各国が温室効果ガスの排出量をきちんと管理することが必要です。パリ協定第14条ではグローバルストックテイクという仕組みが規定されています(図3)。COP28では第1回のグローバルストックテイクの報告が出されました。各国はこの文書を参照して、2025年までに2035年までの次期目標を立てることになっています。気温上昇を1.5℃未満に抑えるために緊急に行動することが改めて確認され、各国の野心的な2035年目標を策定するように促すことができたことは



図3 グローバルストックテイクという仕組み

成果の1つとなっています。これには、全ての温室効果ガス、および産業・運輸・家庭などの全てのセクターを対象とした排出削減、分野別の貢献（2030年までに再生可能エネルギー発電容量を3倍にすること、省エネ改善率を2倍にすること等）が盛り込まれています。しかし、現時点の2030年の目標では1.5℃の実現には程遠く、2035年の目標をより高くする必要があることを認識する結果となりました。

③ 損失と損害

COP28の初日の11月30日に「損失と損害」の基金の大枠についての決定が採択され、COP28参加者に大きな驚きをもたらしました。途上国が長年にわたって主張し、COP27

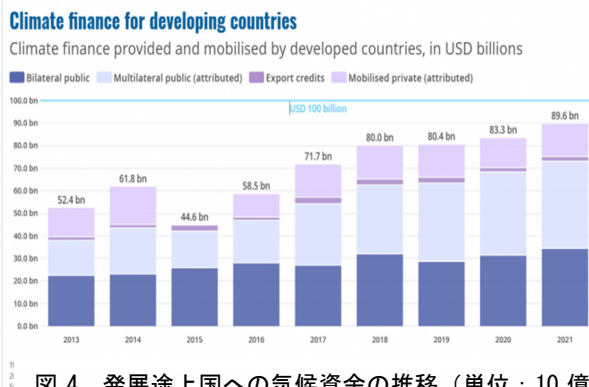


図4 発展途上国への気候資金の推移（単位：10億米ドル）紺色：二国間公約、水色：多国間公約、紫色：輸出クレジット、桃色：民間動員

でようやく設置されたこの基金の注目度は高く、交渉が難航することも予想されていましたが、COP28の開会会合で実質的に合意が採択されました。特に脆弱な途上国を支援するための新たな資金措置及び基金の運用化についても、新たな基金が世界銀行の下に設置されることになりました。図4は、これまでの気候資金の推移を示したものです。2021年までには目標額である1,000億米ドル（14兆円）に達成していませんが、

今回の採択後、各国による基金への拠出表明が行われ、日本からは1,000万米ドル、米国からは1,750万米ドル、英国からは4,000万ポンド、独国からは1億米ドル、UAE（COP28議長国）からは1億米ドル、EUまたは2億2,500万ユーロ（独国を含む）が約束されました。

④ 緩和策

COP27で決定された「緩和作業計画」の年次報告書などを基に、作業計画の実施における進捗状況、機会、障壁となる事項などについて検討された結果、緩和については、輸送システムを含む公正なエネルギー転換の加速に向けて、グローバルな対話や投資を行うことが合意されました。また、運輸部門におけるエネルギー及び資源効率、車両の電動化及び低炭素燃料又はゼロカーボン燃料への移行、並びに関連する政策及び措置、資金調達問題、技術及び能力強化、持続可能な開発及び社会経済的影響に関する事項についても進捗評価を含めて推進することで合意されました。

⑤ 適応策

パリ協定第7条に定められている適応に関する世界全体の目標（GGA）に関するグラスゴー・シャルム・エル・シェイク作業計画の下での2年間にわたる議論の成果として、GGAの達成に向けたフレームワークが採択されました。フレームワークは、国主導かつ自主的なものとして、水、食料、健康、生態系、インフラ、貧困、文化遺産といった7つのテーマ別の目標と4つの適応サイクル（計画、実施、評価等）について目標が設定されました。また、GGAに関する新たな議題を設定するとともに、目標に対する進捗評価のための指標を検討するための2年間の作業計画が立ち上がり、GGAの実現及びフレームワークの実施加速化に向けた議論を開始することが決定されました。

なお、詳細を知りたい方は、国連気候変動枠組条約事務局（<https://unfccc.int/cop28/outcomes>）や Earth Negotiations Bulletin(IISD)<https://enb.iisd.org/united-arab-emirates-climate-change-conference-cop28-summary>のweb siteで読むことができます。